

清水健二さんの近況報告です。

高津5期HPの運営について、何かとお世話になりありがとうございます。
随分ご無沙汰しております。心身ともあちこち痛みだしてきていますが、なんとか健康寿命を維持しています。

昨日、山本健太郎さんから電話をいただき、野口さんが、「清水とのメールが途絶えているのではないかな」と心配しているよ」とのことや、最近のKOZOOMサロンへの勧誘がありました。貴殿や山本さんのお気遣いありがとうございます。

先日も中西卓さんからも直接電話を頂戴し、「清水はどうしとるんじゃろう？」とご心配してくれてもらい、私の無精を謝しながらも、皆さんの温かい心に感じ入っています。

小生のメールアドレスは変更していませんし、5期HPは異常なく着信しています。7月末のリモートサロンで参加された皆さんの映像写真も拝見しました。その後の村尾行一さんの突然の訃報にも接し、他人事でない思いを抱きました。村尾さんとは同じクラスになったことがあります。特に親しくなかったことから、思い出の追悼文も発信できませんでした。ご容赦ください。

さて、コロナ禍による日常の生活も随分変わってきました。サラリーマン生活を卒業してはや20年になりました。現役の頃から、人生は二毛作だと言う思いがあり、退社後は仕事からきっぱり離れ、もともと興味があった彫刻や絵画などの世界を覗こうと、少しずつ勉強をはじめ、この世界でのお付き合いをやって来ました。二毛作目の収穫は大いしたものでありませんが、多くの方々と親交を深める事ができ日々を大切にしてきました。

(写真の地藏像は過去に近くの常光寺へ寄進したものです。この寺は大阪夏の陣の古戦場であり、河内音頭発祥の名刹の禅寺でもあります。毎年盛大な賑わいをみせる盆踊りも今年は残念ながら中止になりました。)



ところが、コロナ禍の影響で交流の場が失われ、小生の所属する複数の美術協会の会合や、展示会は、3月以降は全面的に中止されました。かろうじて、例年10月に開催してきた天王寺美術館だけ、美術展開催の予約ができています。しかし先の見えないこのコロナの感染拡大で、どうなるかわかりませんが、出品作品の制作に現在励んでいます。「年寄り、特に高齢者は街に出るな！ コロナも怖い熱中症も危ない！」なんて言われると、家の

周りをぐるぐる回って散歩することでは情けなく、晴れやかな気分にはなれないブルーな毎日です。「コロナに負けるな!」と暑中見舞いを頂戴していますが、「コロに勝つにはどうすれば良いか、教えてくれ! 」と叫びたくなるそんな今日この頃です。

話は戻って、KOZOOM サロンへの参加は、小生の PC にカメラが内蔵していませんので、近いうちに装着するよう考えています。準備整えればご連絡します。その折にはよろしくご指導お願い致します。厳しい暑さが続きそうですがどうぞご自愛ください。

令和2年8月4日 清水健二